

2013年4月1日
タカヤ株式会社
事業開発本部 RF事業部

RFID リーダライタのファームウェア アップデートのご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび弊社 RFID リーダライタ「TR3 シリーズ」の一部の製品および「TR3XM シリーズ」におきまして、ファームウェアをアップデートいたします。詳しくは下記ご参照ください。

今後ともご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1 対象製品およびファームウェアバージョン

製品 シリーズ名	製品名	型番	現ファームウェア バージョン	新ファームウェア バージョン
TR3XM シリーズ	ショートレンジ据置型	TR3XM-SD01	1.04 0MLT00	1.05 0MLT00
		TR3XM-SU01		
		TR3XM-SN01		
	Bluetooth ハンディ	TR3XM-SB01	1.04 0MLT02	1.05 0MLT02
TR3 シリーズ	基板モジュール	TR3-C202	1.03 0TRF00	1.05 0TRF00
		TR3-C202-A0-1		
		TR3-C202-A0-8		
	基板モジュール 組込み評価キット	TR3-C202-EVKIT		

2 適用時期

2013年5月1日出荷分以降

3 ファームウェア アップデート内容

	更新内容	詳細	対象 ファームウェア バージョン
1	RF 送信信号の制御コマンド に対するレスポンスの仕様変更	RF 送信信号設定が「コマンド実行時 以外常時OFF」に設定されている場合、 RF 送信信号の制御コマンドの応答を 次の仕様に変更します。 「1.03 0TRF00 未満」→ NACK 応答 「1.05 0TRF00 以降」→ ACK 応答	1.05 0TRF00
2	LockBlock コマンド、LockBytes コマンドの内部処理変更	「通常モード」で本コマンドを実行し、 タグからの応答が受信できなかった場 合は、リーダライタ内部で自動的にベ リファイ処理を行いACK、NACK を 判断します。	1.05 0TRF00
3	I-CODE SLIX カスタムコマンド 「Password protect EAS/AFI」の AFI プロテクト機能に対応	ISO15693ThroughCmd の内部処理を 変更し、AFI プロテクト機能をサポー トしました。	1.05 0TRF00
4	EEPROM 設定書き込み時の 内部処理修正	別紙『TR3 および TR3XM シリーズ RFID リーダライタの使用上の注意の お知らせ』を参照	1.05 0MLT00 1.05 0MLT02 1.05 0TRF00

※No1~3 の項目は、TR3XM シリーズについてはバージョン「1.04 0MLT00/02」にすでに盛り込まれている仕様です。

4 ファームウェアのアップデートに伴う資料およびツールのアップデート

分類	資料名/ツール名	備考
資料	TR3XM シリーズ 通信プロトコル説明書	(現)Ver1.02 → (新)Ver1.03
	TR3-C202 通信プロトコル説明書	(現)Ver1.04 → (新)Ver1.05
ファームウェア バージョンアップツール	最新版バージョンアップツール (※1)	WEB サイトからダウンロー ド可能

※1 : TR3XM-SB01 用バージョンアップツールは準備していません。本製品のバージョンアッ
プはセンドバック対応のみとなります。

5 ファームウェア アップデート内容の詳細参照資料

	更新内容	TR3XM シリーズ	TR3 シリーズ
1	RF 送信信号の制御コマンドに対するレスポンスの仕様変更	・ TR3XM シリーズ通信プロトコル説明書「7.8.9 項 RF 送信信号の制御」	・ TR3-C202 通信プロトコル説明書「7.8.8 項 RF 送信信号の制御」
2	LockBlock コマンド、LockBytes コマンドの内部処理変更	・ TR3XM シリーズ通信プロトコル説明書「7.10.6 項 LockBlock」 ・ TR3XM シリーズ通信プロトコル説明書「7.10.20 項 LockBytes」	・ TR3-C202 通信プロトコル説明書「7.10.6 項 LockBlock」 ・ TR3-C202 通信プロトコル説明書「7.10.20 項 LockBytes」
3	I-CODE SLIX カスタムコマンド「Password protect EAS/AFI」の AFI プロテクト機能に対応	・ カスタムコマンド通信プロトコル説明書「3.2.10 項 Password Protect EAS/AFI」	
4	EEPROM 設定書き込み時の内部処理修正	—	—

※No1~3 の項目は、TR3XM シリーズについてはバージョン「1.04 0MLT00/02」にすでに盛り込まれている仕様です。

6 その他

お客様お手持ちの機器のファームアップをご要望される場合は、センドバック方式による有償対応となります。詳しくはご購入元にお問合せください。

◆本リリースに関するお問合せ先

タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部 営業部 RF 営業課

TEL : 03-5449-7045

E-Mail : rfid@takaya.co.jp

以上